

村山地域民有林・国有林連携推進会議を開催しました

令和6年7月18日(木)に、山形県村山総合支庁会議室で令和6年度村山地域民有林・国有林連携推進会議を開催しました。

この会議は、山形県村山地域に所在する県・国の林務関係組織である山形県村山総合支庁森林整備課、山形県森林研究研修センターと当署が参集して、それぞれ当年度の事業計画や取組事項等について情報交換を行うこととして毎年開催しているものです。

当日は、「西山杉」のブランド化、川上対策(山元の素材生産・再造林等)・川中対策(木材の加工流通等)・川下対策(木材の需要拡大等)、技術開発と試験研究、普及事業と人材育成、さらには造林事業をはじめとした各種事業の計画など、多岐にわたる取組の内容について情報交換を行いました。

質疑応答ではオオシラビソ(アオモリトドマツ)の種子の収穫量の予測、東北農林専門職大学との協定、広葉樹材の採材について、さらにはレーザー計測の活用実績など、幅広い内容について意見を交換しました。

予定では現地視察を組み込んでいたものの諸般の事情により延期となってしまいましたが、またの機会を待つとともに、本日の会議を機に参加者一同、村山地域の民有林・国有林の課題と取組を認識し、共有いたしました。

村山地域の国有林を管轄する当署では、引き続き、地域の民有林行政・研究機関等との連携を進めながら、共通する課題の解決に取り組んでまいります。

